



学習だより

第11号

令和6年10月30日発行

宇都宮市立陽北中学校
学習指導部

「学習だより」は、本校のホームページからご覧になれます。
携帯電話・スマートフォンから、QRコードを読み取ってご覧ください。



とちぎっ子学習状況調査の結果より①

4月18日に2年生を対象に行われた「とちぎっ子学習状況調査」の生徒質問紙回答結果より、本校の生徒の特徴を表すもの（113の質問の中から学習に関わるもの）を抜粋して取り上げてみました。下の表の比較の欄では、栃木県・宇都宮市の平均肯定回答率と比較して、5ポイント以上の開きがあるものを太字で表しています。

詳しくは、ホームページをご覧ください。

○栃木県・宇都宮市より上回っている項目

質 問 事 項	本校	市との比較	県との比較
・家で、自分で計画を立てて勉強をしている。	78.4%	+9.2	+10.8
・家で、学校の宿題をしている。	100%	+7.8	+8.3
・家で、学校の授業の復習をしている。	92.6%	+20.4	+21.5
・家で、テストで間違えた問題について勉強をしている。	71.0%	+6.7	+7.2
・学校の宿題は、自分のためになっている。	96.6%	+5.9	+5.8
・勉強していて、おもしろい、楽しいと思うことがある。	84.5%	+9.7	+12.2
・学習して身に付けたことは、将来の仕事や生活の中で役に立つと思う。	96.6%	+4.7	+8.3
・学習に対して、自分から進んで取り組んでいる。	70.3%	+7.3	+7.6
・授業の最後に、学習したことをふり返る活動をよく行っている。	89.9%	+9.7	+8.5
・授業で分からないことがあると、先生に聞くことができる。	73.0%	+0.4	+1.5

▲課題であると思われる項目（栃木県・宇都宮市より下回っている項目）

質 問 事 項	本校	市との比較	県との比較
・家で、学校の授業の予習をしている。	41.2%	-5.5	-1.6
・家で勉強するときに、だいたい同じ時刻に取り組むようにしている。	56.8%	-0.3	-1.3
・本やインターネットなどを利用して、勉強に関する情報を得ている。	69.6%	-1.2	-1.2
・グループなどでの話し合いに自分から進んで参加している。	77.7%	-0.5	-0.3

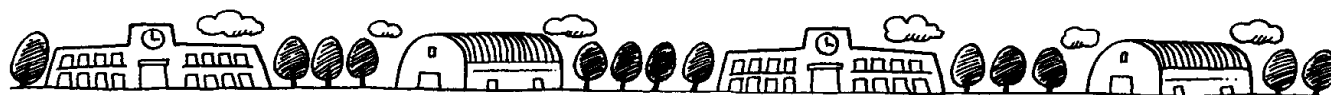
・授業で扱うノートには、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いている。	87.2%	-0.7	-3.1
・授業で自分の考えを文章にまとめて書くことは難しい。	61.5%	-6.4	-4.4
・クラスは発言しやすい雰囲気である。	77.7%	-2.4	-2.8
・友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意である。	39.9%	-5.1	-3.8

これらのことから、全体的に学習意欲が高く、落ち着いた環境の中で自主的・自発的に学習に取り組んでいること、また、多くの生徒が学習の有用性を感じていることがうかがえます。

一方で、自分の考えや意見を発表したり、文章にまとめて書いたりすることを苦手としている生徒が少なくないこともうかがえます。その日の授業の振り返りや話し合い活動を通じて考えたことなどを自身の言葉でまとめたり、友達の話や意見を最後まで聞くという姿勢が大切となるでしょう。

また、「家の人と学校のでできごとについて話をしている」「家的人是、あなたがほめてもらいたいことをほめてくれる」生徒の平均肯定回答率は市や県を下回り、家庭での会話が生徒の自己肯定感を高めたり、自信をもって行動することにつながっていると思われます。

学校でも家庭でも「認めて・褒めて・励まして」の実践を通して、生徒一人一人が安心して自己表現し、持てる力を十分発揮していくことができますように、ご家庭でのご支援・ご協力もよろしくお願いいたします。



◇すべての人に勉強は必要◇

「自分は、運動で進学するから勉強はしなくていい」

スポーツ推薦・特待で進学する人が、よく口にする言葉です。

かつて、自分のクラスや学年にも、同じような言葉を口にしていた生徒がいました。

彼は野球部（硬式野球）だったので、野球で高校へ進学しようと思い、勉強の手を抜いた時期がありました。でも、自分が社会人になると「運動で進学するから勉強はしなくていい」というのは、見当違いであることに気づきます。すべての人に、勉強は必要であるということが分かるのです。

社会人として、世の中の仕組み、流れなどを勉強して、最低限押さえておかないと、将来苦勞をすることになります。

社会では、社会のルールがあります。お金、仕事、人間関係、常識、マナーなど、少なくありません。すべての人は、社会人なのですから、社会の勉強は必要です。無視をしようと思っても、しょうがありません。社会の中で生きているのですから、その流れには従わなくてはなりません。

流れに反する人間は、それ相応の苦勞が待ち受けています。

勉強をしていないと、お金の使い方や苦勞したり、人の気持ちも理解できないため、人間関係が悪くなったりします。

勉強をしていないと、知らない間に川の流れに反した方向に進んでしまい、苦勞した道を歩んでしまうことがあるのです。

そうすると、結果として損をするのは自分です。

勉強しないほうが楽だと思い、勉強しないまま大人になると「すべての人に勉強が必要ではないか」と気づき、焦るのです。

すべての人に、勉強が必要となるのです。

